

佐倉市議会だより



2020年2月1日
(令和2年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



～魅力ある佐倉農業を目指して～ 令和元年度 佐倉市議会意見交換会を開催

11月16日(土)、佐倉市役所議会棟を会場として、「令和元年度佐倉市議会意見交換会」を開催しました。テーマは「佐倉市における農業の現状と課題について」とし、基幹産業ともいえる農業について、最前線でご活躍されている方々27名をお招きして、議員との懇談会形式による意見交換会を行いました。当日は、全体会議の後、3グループに分かれ、担い手不足問題、品質の維持向上などの生産面、直売所やネット販売などの流通面、自然災害、耕作放棄地や害獣問題などの環境面の3つの視点から、日頃感じていることなど意見交換を行いました。なお、意見交換会の報告書は、ホームページで掲載するとともに、市役所の市政資料室や市内図書館に配架しております。



石渡議長からの挨拶 (全体会議にて)



Aグループ



Bグループ



Cグループ

11月定例会

会期 11月25日～12月16日

一般会計補正予算など

市長提出25議案を審査

台風・豪雨被害に対し、補正予算を計上

佐倉市議会は、11月25日から12月16日までの22日間にわたり、令和元年11月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「令和元年度佐倉市一般会計補正予算」など議案24件、諮問1件が提出され、審議の結果、可決・承認・同意しました。陳情については「暗所視支援眼鏡「MWO」の日常生活用具認定のための陳情」1件が、議員提出議案については、「豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書」など8件がそれぞれ提出され、審議しました。また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に13人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

第14回 佐倉市子供議会が開催されました



11月5日(火)、第14回佐倉市子供議会が市議会本会議場で開催され、市内の小中学校12校から代表となった22名の児童の皆さんが議長、副議長、議員となり地方自治、地方行政の仕組みについて学習しました。

開会にあたり、西田市長、石渡議長の挨拶があり、引き続き一般質問が行われました。保護者や引率の先生方が傍聴席で見守るなか、小学生議員は、市政全般の課題や取り組みについて、幅広い分野にわたり質問をしました。これに対して、市の職員が答弁するやり取りは、市議会の本会議さながらの光景でした。



各小学校代表の皆さん

総合計画関連議案を修正可決

(閉会中の継続審査案件)

令和元年8月定例会に提出された議案第29号「基本構想及び前期基本計画の策定について」は、28名すべての議員で構成する「総合計画関連議案審査特別委員会」に付託され、閉会中の継続審査となった案件です。本案に対して、委員会は4日間の全体会、4日間の分科会を開催し、審査を行いました。11月定例会最終日の本会議で採決した結果、委員会での審査結果のとおり、5点の修正を盛り込んだ修正案が可決されました。なお、平野裕子委員長から、審査結果報告とともに次のような意見が出されました。

・さらなる少子高齢化の進展、外国人住民の増加など社会構造の急速な変化が予想される中、シニアプロモーションの推進や子育て施策の充実、多文化共生への対応をはじめ、人口減少対策は引き続き取り組まなければならない喫緊の課題である。将来人口の見通しは、施策の方向性や事務事業の精査にも大きく作用することから、人口動態や各種調査を踏まえた上、的確に捉え今後の計画見直しに反映していただきたい。

・計画の推進に当たっては、成果指標の達成度を計ることにとどまらず、指標の基となっている市民意識調査の現状分析を詳細に行うとともに、今後多様化する市民ニーズを把握できるよう、調査方法の改善を図り、課題抽出に努めていただきたい。

市政に関する

一般質問

11月定例会では、12月2日から12月5日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(2月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(2月下旬配信予定)からご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間60分、それ以外は30分。()内は会派名。

Table with 2 columns: Questioner Name (Party) and Questions. Includes representatives like 平野裕子 (さくら会), 鍋田達子 (公明党), 徳永由美子 (自由民主さくら), etc.

個人質問

Table with 2 columns: Questioner Name (Party) and Questions. Includes representatives like 玉城清剛, 石井秀明 (自由民主さくら), 岡野敦 (さくら会), etc.

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



平野裕子 (さくら会)

市長の政治姿勢について

問 平成30年度の佐倉市一般会計決算において、経常収支比率の高止まり、実質単年度収支の3年連続の赤字など、財政状況の厳しさが現れてきている。一方、現在審議中の第5次佐倉市総合計画の着実な実行、多

発する自然災害への対応など、新たな財政出動も求められる。こういった財政状況を踏まえ、どのような方針での予算編成になるのか。

問 佐倉市の未来に向け確固たる道しるべとなる第5次佐倉市総合計画を推進していくに当たり、基本的な方針を伺う。



鍋田達子 (公明党)

災害対応について

問 液体ミルクの啓発と災害時用備蓄について問う。妊産婦の災害時の備えのリーフレットで次年度から周知する。令和2年3月頃、一定量を備蓄していく。防災ガイドブックを最後に全戸配布したのはいつか。また、本年発行の最新版は全戸配布するのか問う。

問 今回の災害を教訓に、平時からのペットの防災対策と、災害時にペットとの同行避難ができるよう市民の皆さまにも理解していただくための啓発を要望する。総合計画について

問 目の健診で弱視や斜視等を早期に発見し早期の治療開始が重要。短時間で高精度の検査ができるスポットビジョンスクリーナーの導入について考えを問う。



徳永由美子 (自由民主さくら)

地域介護予防活動支援事業

問 通いの場の参加促進のためのマッピングや検索機能の整備について問う。初期費用やランニングコスト等の財政的な課題があり導入には至っていない。敬老事業について

QRコードの掲載を始めました! 一般質問の様子は、佐倉市議会ホームページで録画中継をご覧ください。今定例会号から各議員の録画映像へリンクするQRコードを掲載しました。ぜひご利用ください。

ス3%のシーリングを行う。その上で、「安心、安全なまちづくり」など8つの取り組みの実現に向け積極的なスクラップ・アンド・ビルドによる事業の選択と集中を進め、限られた財源を効果的に配分する。

問 保育園でのおむつの処理について、具体的な検討をすることとであったが、今後の方向性について問う。

問 市民の防災意識を高めるためにも早急に最新版の全世帯配布を要望する。台風19号の際、ペットとの同行避難を受け入れた避難所数とペットの総数を伺う。また、他の避難者として

のトラブルはあったのか。受け入れた避難所は10カ所。犬12頭、猫6頭、イヌコ、ウサギ、鶏各1羽で総数21。トラブルはない。

問 少子高齢化の進む佐倉市において青少年の健全育成は非常に重要。第4次佐倉市青少年育成計画の基本的な考え方を問う。多様化する青少年問題に的確に対応し、佐倉市の未来を担う子ども、若者の健やかな成長を支える社会の実現を目指すことを基本とする。乳幼児健診について

予算にどう反映させるか。
答 社協等からの方針を踏まえて制度案を固め、予算に反映していく。

問 西志津多目的広場の駐車場整備について引き続き検討を求めます。

答 排水対策など関係部署と検討をしている。

シティブロモーション
問 定住促進でより効果が出るようなシティブロモーションに見直すべきでは。

答 移住等を検討している子育て世代のニーズに対してダイレクトに訴求する佐倉市らしいシティブロモーションを展開する。

問 市の子育て施策を認識いただく機会として定住促進関連のプレスリリースはHP上でも公開すべきでは。

答 HPに公開、蓄積し、市の施策を知っていただくきっかけとして活用する。

問 合計特殊出生率が増えている自治体は転入してきている方が2人目、3人目を出産している。マーケティング課を設置して、ニーズにあった結果を出すべきでは。

答 マーケティングの必要性は認識している。組織として設置すべきか研究する。

子育て施策について
問 子育て支援に関する事業の実施や情報発信には多忙な子育て世代が利用しやすい工夫が必要。子育てアプリを導入すべきでは。

答 利便性や運用コスト等

を総合的に勘案しながら全庁的に協議、検討する。
問 プッシュ型の情報発信や産休、育児時のキャリアアップを視野に入れた仕事情報を提供している自治体もあり参考にしたい。

市民ネットワーク
 かわくち えみ
 川口絵未

越水しない頑丈な堤防を
問 鹿島川の河川改修工事で城内町付近は未着手。現在の土の堤防だと越水して住宅側が削られ決壊につながる。住宅側である裏の面に遮水シートを張り、ブロックなどで強化する「耐越水堤防」工法がある。那珂川で10月の台風の際、この箇所は決壊しなかった。費用はスーパードームの100分の1。県にこの工法を用いて堤防工事を行うよう強く要望すべきと考える。

答 県に検討をお願いしてまいりたい。

命を守る施策・条例を
問 どのような洪水に遭っても命を守る、河川整備だけに頼らない「滋賀県流域治水条例」を参考に川の氾濫だけでなく下水道施設からあふれた内水氾濫を合体したハザードマップ作成を。

答 県が想定雨量などを見直す機会に合わせて検討。

問 不動産業者が浸水想定地域の物件を販売する際に重要事項説明を課す、時間雨量50mmで床上浸水す場

所に、新規に住宅・福祉施設・学校等を建設しない等の立地規制を検討しては。
答 私権の制限となり影響が大きい。制度化は難しい。
問 浸水で家屋が無価値になるのを防ぐのが立地規制。

市民オンブズマン
 ひまわり会
 藤崎良次

台風、大雨の被害
問 佐倉市は、台風、大雨により大きな被害を受け、新聞テレビで大きく報道された。災害に弱い佐倉市への対策は。

答 今後の対応が重要で、一日も早い復旧、復興により、元気な佐倉市をアピールできると考えている。

住民票発行単価は1万円超
問 住民票等のコンビニでの発行経費は。

答 H30年度のコンビニ交付合計は1317枚。経費は1428万円である。

問 発行単価は1万円を超えている。市窓口単価は。

答 市窓口では495円。

新佐倉図書館への市民意見
問 地下図書館は良くないという市民意見があったが。

答 基本設計の変更で、市民要望等を含め、図書館エリアへの採光増も実現した。西側の採光増で、地下らしからぬ図書館になる。その意味で市民意見が影響したと思うが。
答 そのとおりである。
落札者の24%はくじ引き

問 今年度入札での落札者「くじ引き決定数」は。
答 11月21日までで、市長部局で41件、発生率は20.5%、上下水道部で23件、同35.3%。合計で64件、同24.1%。

日本共産党
 はさわら よしこ
 萩原陽子

災害時市民対応と危機管理
問 防災無線が聞こえないという声が聞かれるが、広く市民に知らせる情報伝達の手段として、何が有効か。

答 防災無線のデジタル化で機能拡大が期待できるほか、メール配信や広報車の活用等で補完していきたい。

問 福祉施設や高齢者世帯などに防災ラジオの戸別配布を提案するがいかがか。

答 有効な手段であり、検討したい。

第2次佐倉市環境基本計画
問 温暖化を防ぐ計画の実施、効果検証はしているか。

答 太陽光発電導入655世帯に補助金を交付。温室効果ガスの総排出量は増減を繰り返している。

問 プラスチックごみを削減するためにレジ袋対策を。

答 来年7月から国がレジ袋有料化を義務付ける予定。買い物袋の持参を啓発する。

見積もってはいないが
答 地下掘削だけでも8千万円から9千万円の差は生じる。
問 なぜ条件の良い体育館隣の市有地に建てないのか。
答 新町地区の活性化に寄与することが重要である。

個人質問
 たまき せいごう
 玉城清剛

敬老事業について
問 西志津地区では市の補助金なしで地区社協中心に参加者900人以上、来場者1万人を迎え第15回敬老会を盛大に終了できた。次年度の進め方を市長に伺う。また、高齢者は弁当を食べながら孫たちの演技を鑑賞することが楽しみである。

答 補助金が支給される場合、弁当代として使用が可能か。

問 各地区社会福祉協議会、社会福祉協議会からの方針を踏まえ、制度案を固める。まちづくり協議会について

問 西志津まち協は250人で活動してきたが、市の新制度を協議し、全会一致で解散を決定した。地域防犯活動に重要な青パトの地区社協事業への編入は可能か。補助金は出るのか。

答 地区社協の了解と市へ手続き後、警察への申請が必要。補助金は出ない。

児童の安全な通学について
問 勝田台4号踏切付近横断歩道移設時期と踏切内歩

行者通路拡張について伺う。
答 移設は警察が発注済なので連携して進める。拡張は京成電鉄に確認していく。

自由民主党
 いしい ひであき
 石井秀明

佐倉市が目指す農業
問 農地法改正に伴い、農業活性化の可能性が広がる中、市長の考えを伺う。

答 今後も意欲的な農業者をオール佐倉で支援し、農業の活性化とブランド化に取り組んでいく。

ICT化の促進について
問 業務作業効率化に有効なICT技術の活用状況について伺う。

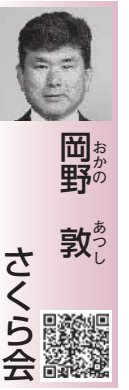
答 全所属にネットワークを敷設し、情報伝達の迅速化に努めている。ペーパーレス化についても、生じた課題への対応を検討しながら取り組んでいる。

子どもの体力について
問 肥満や生活習慣病の児童生徒への取り組みを伺う。

答 健康教育、生活習慣病予防検診の実施を通じ、保護者も交えながら生活習慣病予防教育に取り組んでいる。

防災について
問 防災無線以外の防犯情報伝達方法を伺う。

答 メール配信、無料テレビジョンサービス、ホームページ、ツイッターへの掲載、広報車での広報活動を実施。



岡野 敦



印旛沼関連の政策について

問 洪水時には栄町や八千代市の機場から排水し、水位を人為的に管理している印旛沼の特異性に鑑み、今後の取り組みを伺う。

答 予備排水などを要請し、国、県等に印旛沼の排水機能強化を要望していく。

問 台風接近時の防災タイムラインについて伺う。

答 他市の災害行動計画等を参考に作成を検討したい。住んで良かったと思えるまちづくり施策について

問 放置された特定空家等をどのように考えるか伺う。

答 個人財産であり所有者等へ適切な管理を指導する。

問 避難所開設の状況と課題について伺う。

答 38カ所開設し、約1400名が避難。課題は早めの避難、避難所の居住性やペットの動向など。よりよい避難所運営に努めていく。

問 交通空白地帯への対応について伺う。

答 飯重、羽鳥、寺崎地区はコミバスで対策を検討中。問 免許返納者など一定条件のもと高齢者外出支援タクシー利用助成を提案する。



押木 孝和



LGBT（性的マイノリティ）に寄り添うまちづくり

について

問 LGBTであるため差別的な扱いや偏見を受け、地域から孤立してしまうこともあり、大きな問題となる。市民への理解の促進を図るための啓発活動や相談窓口について伺う。

答 性の多様性を正しく理解してもらうため、「こころほろ」や男女平等参画推進センターでの情報発信等を行っている。相談窓口については、人権擁護委員による相談や法務局の人権相談で対応するとともに、県弁護士会やさまざまな当事者団体の相談窓口を案内している。

市民の健康維持・増進について（フレイル予防対策）

問 フレイル対策の3つの柱「栄養・運動・社会参加」を進めるための市の取り組みを伺う。

答 栄養や体操指導の実施、交流の場をまとめた冊子の配布をしている。また、3つの柱を無理なく継続して取り組んでいただくための機会を増やしていく。

図書館運営について

問 若者の読書離れが深刻である。伊丹市では高校生が図書を選定や運営を企画したり子どもたちがやりた

いことを考え実行する「こども作戦会議」など、若者が集うユニークな取り組みに力を入れている。佐倉市でも取り入れてはどうか。

答 若い世代の方々と連携し、取り組んでいくことが重要。参考にしていきたい。

いじめ相談について

問 スマホ等を使い、ネット上での誹謗中傷などのいじめ問題が深刻化している。子どもが気兼ねなく相談できる、SNSを活用した相談窓口の開設について伺う。

答 実施自治体の成果や課題を把握し研究していく。公共工事の平準化について

問 年度末に工事が集中すること、市民生活に支障を来し、また建設業従事者の労働環境の悪化にもつながっている。年度内の工事量の偏りを解消する必要があるが取り組みを伺う。

答 法及び指針を各課に周知した。平準化についてはガイドライン等検討したい。

内水氾濫と気候変動適応

問 雨水管理総合計画策定の進捗状況を伺う。

答 重点対策地区5カ所を時間当たり降雨量82mm とし床上浸水解消を目指す。

問 気候変動に適応していく概念、グリーンインフラを導入する必要がある。

答 国、県の動向や、自治体の事例を調査研究する。地域によって千差万別

である地域気候変動計画について、ほかの流域自治体では調査チームを受け入れ

検証が進んでいるが、佐倉市はどう考えるか。

答 調査研究チームから内容を伺い、受け入れについて検討する。

子育て家庭向け情報発信

問 スマートフォンアプリ等、SNSを利用したプッシュ型の子育て家庭向け情報発信について考えを伺う。

答 幅広い年齢層への情報発信が効果的と考えられるため全庁的に協議し検討する。

市内通学路の安全対策

問 街灯設置の取り組みは。順次整備しており、今年度中にさらに寺崎北地区など110灯を整備する。

佐倉市史の現状と今後

問 佐倉市は、類いまれなほど歴史資産が豊富な市だ。今後、教育・観光・郷土愛の醸成等、多岐にわたり歴史の活用が大切だ。佐倉市の歴史について知識の柱となるのが佐倉市史だが、現在1、2巻が絶版だ。再販する予定がないのなら、新版を作り、それをデジタル化しネット公開する等の施策が必要と考えるがどうか。

答 佐倉市史は「考古編」の出版をもって一区切りと考えている。

小出義雄記念陸上競技場と

金メダルジョギングロード

問 岩名陸上競技場を小出義雄記念陸上競技場と名称変更するが、小出監督の功績でもあるメダリストになむ「金メダルジョギングロード」の標識は傷みが激しいので修繕が必要だ。また、マラソン大会前に当該コースを利用した有料のランニングイベントを実施する提案をするがどうか。

答 標識の修繕は、順次実施したい。マラソン大会前に開催するランニングイベントは現状考えていない。

幼児教育・保育の無償化について

問 無償化で無料にするのは利用のみとし、給食のおかず代は保護者が園に直接支払うことになったが、逆転現象があったか。あれば何世帯で、それに対する補助はあるか。

答 無償化開始前の保育料より給食費が高くなる世帯は31世帯、児童数33名。一定の期間保育料と給食費の差額分、月額7500円を上限に補助を検討し、11月定例会に補正予算で計上している。

教職員の働き方改革について

問 変形労働時間制の導入を柱とする教職員給与特別措置法改正案が国会で審議

されている。市内の教職員の時間外労働はどのようになっているか。

答 6月を例に挙げると平日の場合、平均2時間20分。働く人々の最低の労働条件を設定した労基法に基づく働き方改革が必要。教職員の増員と業務の改善に取り組み、何よりも徹底した話し合いをお願いする。

開かれた教科書の採択を

問 今年度教科書共同採択の2地区4市を含め7市で8月に教育委員会会議が開かれ、静ひつな傍聴環境のもとで教科書が採択された。佐倉市も公開の検討を。会議後の9月1日以降に会議録を公表している。

問 来年度は中学校教科書の採択である。印旛採択地区は県内最大9市町で構成しているため各教育委員会の意思統一が困難ではないか。地区の分割を提案するが、今後協議をしていく。

国民健康保険について

問 国保は憲法第25条に基づき社会保障であり国の責任で行う制度。国が財政を都道府県化したのは国保税への自治体独自の軽減をやめさせ、それを税に転嫁するのが狙い。毎年県の協議会で各自自治体の国保税が協議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

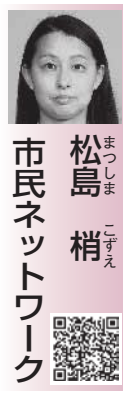
議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

議される。来年度の佐倉市

の保険税はどうなるか伺う。
答 現時点で国保税率の改定の予定はない。
問 地方自治の原則を堅持し、法定外繰り入れが行えることを主張すべき。



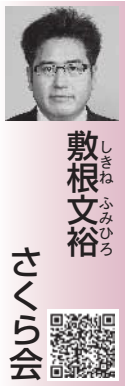
松島 梢
市民ネットワーク

10月25日豪雨の学校対応について
問 各小中学校で問題は発生しなかったか。
答 気象状況が刻々と変化しており、下校時の判断に戸惑う学校もあった。保護者の迎えによる引き渡しを実施したところ、交通渋滞が発生しスムーズに下校できない状況が発生した。

ハザードマップについて
問 佐倉市防災地図と佐倉市洪水ハザードマップの違いは何か。
答 防災地図は土砂災害、洪水ハザードマップは浸水を想定している。一枚では見づらいので分けている。

避難所運営委員会について
問 災害時に、職員だけの避難所の開設や運営が困難となる事態も発生する。事前に避難所となる施設を中心に、地域の町内会、自治会、自主防災組織等が一体となった避難所運営委員会を設立し、災害発生時に市と地域住民が連携しながら、避難所運営を行う体制を整えておく必要がある。
答 今後他市の事例を注視

し、研究する。

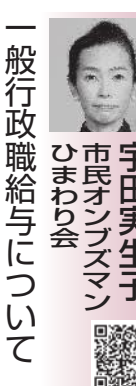


敷根文裕
市民ネットワーク

災害時における市の対応
問 台風15号では停電する避難所もあった。鋸南町等で活躍した移動型独立電源は、地域の防災減災と低炭素化を同時実現する自立分散型エネルギー設備等導入推進事業で購入できる。国の予算を活用すべきでは。
答 議員ご紹介の移動型独立電源も含め、災害時の備え等について研究していく。

観光と自転車活用について
問 国交省の予算概算要求概要に、自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間整備に対して、1兆2611億円ある防災・安全交付金で「重点的に支援する」とある。市内インフラ整備に国の予算を活用するため計画を策定するべきでは。
答 計画策定は重要と認識しており関係部局と連携し研究を進める。

ICT活用について
問 総務省から専門家を無料派遣してくれる地域情報化アドバイザー制度を活用し、市の実情に即したICT活用を進めるべきでは。
答 議員ご提案のように活用を検討していく。



宇田実生子
市民オンブズマン

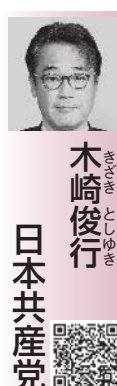
一般行政職給与について
問 平均給与月額が浦安市、印西市に続き県内第3位。職員給与の適正化を求める。
答 千葉県人事委員会勧告に準拠しており適正。時間外勤務手当の支給額が原因。高齢者、妊産婦、子育て世代等のお出かけタクシー券進捗・検討状況を問う。

庁内関係機関と打ち合わせを実施。引き続き検討。
問 高齢者ドライバーへの安全装置を取り付ける器具等に対する補助金制度の確立の進捗・検討状況を問う。
答 引き続き検討を進める。

市から聖隷・東邦病院等に駅と病院間の無料送迎車両等を要望できないか。
答 機会を捉え伝えていく。

鳥獣被害防止対策について
問 専門部門設置を求める。
答 現行体制で対策を着実に実施し今後の状況を注視。
有料指定ごみ袋について
問 他市では有料指定ごみ袋の代わりに専用コンテナ他市販の袋等使用、見解は。
答 分別徹底や収集迅速化路上設置の集積所数の現状から、現体制が適している。と現時点では判断している。

災害と市長の政治姿勢
問 内閣府の通達では避難



木崎俊行
日本共産党

所生活環境を改善できる施策が盛りだくさん。障がい者用ポータブルトイレなども用意できたはずだ。
答 よりよい避難所となるよう努めていく。
問 災害ごみ無料受け入れ中止を撤回し柔軟な対応を。
答 明確に災害ごみと確認できれば対応をしている。
問 市長のSNSが不愉快だとの苦情があるが。
答 今後、十分注意する。

公用車運行記録を資料請求したが、大ざっぱで不誠実。以前の監査に反する。
答 資料請求に応じた資料は業務委託の資料。市長公務はHPで詳細を掲載。

他市と連携した河川整備を
問 高野川と井野川の合流地点の氾濫解消のため八千代市と対策協議会の開催を。
答 必要に応じて開催する。

消費税10%の影響について
問 生活保護、年金併用世帯は年金生活者支援給付金5千円が収入認定され生活扶助費から差し引かれるが。
答 生保70歳単身世帯で生活扶助費が1330円加算。

用語解説
※「スポットビジョンスクリーン」
 6カ月の乳幼児から大人まで迅速かつ正確に、近視、遠視、乱視などを検知することをサポートする携帯型の検査機器。

主な議案の概要

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第7号及び第24号は令和元年度の各会計補正予算、議案第8号〜第17号は条例の制定、議案第18号は契約の締結、議案第19号〜第21号は指定管理者の指定、議案第22号は監査委員の選任、議案第23号は専決処分承認を求め、議案第24号は人権擁護委員候補者の推薦に関する議案です。

議案第1号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ6824万8千円を増額するもので、補正後の予算総額は502億5924万5千円。

主な歳入は、国庫支出金、諸収入、市債の増額、繰入金の減額。主な歳出は、給与改定、人事異動等に伴う職員人件費の補正、台風第15号、第19号による被害への対応に係る事業費の増額、扶助費など不足が見込まれる事業経費の増額、和田学童保育所拡張に伴う事業経費、事業執行額の確定による計数整理など。

繰越明許費の補正は、防災施設整備事業債を変更するもの。
 繰越明許費の補正は、六崎4-32号線舗装補修工事ほか3件を追加するもの。
 債務負担行為の補正は、複数年で契約を締結するもの26件及び令和2年度において4月当初から実施する業務について、部局ごとに分けて設定するもの12件を追加するもの。

地方債の補正は、防災施設整備事業債を変更するもの。

議案第19号 指定管理者の指定について
 佐倉市男女平等参画推進センター、佐倉市ヤングプラザについて令和2年4月1日から令和7年3月31日まで、佐倉市スマートオフィスプレイスについて令和2年4月1日から令和5年3月31日まで、指定管理者を指定するもの。

議案第22号 監査委員の選任について
 瀬田和俊(せた・かずとし)氏を選任することについて、議会の同意を求めるもの。

議案第23号 専決処分の承認を求めらるるものについて
 度重なる災害への早急な対応が求められることから、市長の専決処分により、歳入歳出それぞれ5億9846万5千円を増額する一般会計補正予算を計上し、事業費に充てたもの。
 歳入は、国庫支出金、県支出金、繰入金の増額。
 歳出は、被災住宅応急修理支援委託事業、既存建築物耐震改修等支援事業、予備費の増額。
 繰越明許費の補正は、被災住宅応急修理支援委託事業ほか1件を追加するもの。

議案第24号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算
 主に10月25日の大雨に係る災害復旧事業であり、早急に着手する必要があることから、歳入歳出それぞれ4億8298万7千円を増額するもので、補正後の予算総額は、507億4223万2千円。
 歳入は、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰入金、市債の増額。
 歳出は、被災住宅応急修理支援委託事業、災害廃棄物対策事業、道路橋梁災害復旧費、農地・農業用施設災害復旧費などの増額。
 繰越明許費の補正は、明神橋(6-108号線)災害復旧事業を追加するもの。

繰越明許費の補正は、被災住宅応急修理支援委託事業の変更及び損壊家屋等解体撤去等事業ほか4件を追加するもの。
 地方債の補正は、道路橋梁災害復旧債ほか1件を追加するもの。

議案第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
 兼坂祥子(かねさか・さちこ)氏を人権擁護委員候補者として推薦することについて議会の意見を求めるもの。



令和元年11月定例会 議案賛否一覽

議決結果欄 可 可決 否 否決 同 同意 承 承認 採 採択
○ 賛成 × 反対 議 議長

Table with columns for bill number, name, party (saku-kai, komyo, etc.), and voting results for each member. Includes sections for Mayor's proposals (市長提出議案) and Member proposals (議員提出議案).

議案に対する会派等の意見

つとま

議案第1号及び第24号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算、議案第23号 専決処分の承認について賛成

これらの議案については、本年9月、10月に発生した度重なる台風、大雨による被害対策に要する経費が多数盛り込まれたものである。被害への早急な対応をすべ...

なお、完全復旧には、より一層の対策と、きめ細やかな市の支援が必要不可欠であると考えていることか...

8月定例会提出議案 議案第29号 基本構想及び前期基本計画の策定について、一部修正を加えた上で賛成

基本構想等の総合計画は、市政運営の根幹となる行政計画であり、人工知能の進...

本計画案では、佐倉市が目指すべき新たな将来都市像が明確に示されるとも、その実現につながる諸施策はもちろん、地球規模...

での取り組みが求められているSDGs(エス・ディーズ)と諸施策の関係性についても整理されるなど、時流に則した総合計画であると判断し、賛成し...

公明党

議案第1号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算、23号専決処分の承認を求めること、24号令和元年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

いずれも台風15号および19号、21号に伴う豪雨による被災箇所や被災者の皆さまのために復旧・復興を支援するとても大事な予算で、一日も早く平穏な日常生活を取り戻すために、今後...

この暗所視支援眼鏡は、暗い場所や夜間の環境下に於いて、より明るい視界を提供するための機器であり、難病指定されている「網膜色素変性症」や「夜盲症」に有効な器具として、一部自治体において助成制度が開始されたものと理解している。

市内にも、これらの難病に罹患し、生活面や就労面において、苦勞をされている方々が多数おられることから、罹患されている方々の日常生活の質的向上を図ることは大切であり賛成。

議案第1号及び第24号 令和元年度一般会計補正予算に賛成 台風15号、19号や21号の大雨による災害対策へ多くの予算が組まれ迅速に対応されている。復旧に向けて計画的かつ最善の方...

自由民主党

議案第1号及び第24号 令和元年度一般会計補正予算に賛成

議案第19号 第21号 指定管理者の指定について賛成

議案第29号 基本構想及び前期基本計画の策定について賛成

議案第9号、10号 市議会議員及び市長等特別職の期末手当を0.05カ月分引き上げる条例改正に反対

議案第11号 一般職職員の月例給引き上げ(平均0.2%)、勤勉手当引き上げ(0.05カ月)、住居手当を引き上げ(2万7000円↓2万8000円)の

市民ネットワーク

主要な反対理由 議案1、9、10号。①議員、市長等特別職の期末手当引き上げは4年連続。消費税10%アップや社会保障費負担増のなかで、市民生活は大変厳しくなる。増額は自粛すべき。

②4月開始の会計年度任用職員の項目を変更する改修。この制度は非常勤職員を低賃金、低処遇に固定化するもの。③母子手帳で管理している情報をマイナンバーに紐づけるための改修。従前よりマイナンバーの情報漏えいのリスクや国家による監視強化の危険性を指摘してきた。よって②、③のシステム改修に反対する。

議案21号。スマートオフィスの改修は昨年の改修工事から現在の窓口業務委託まで貸主の民間企業グループがすべて受注。事業開始からわずか1年で指定管理者を導入、管理者にもこれまでと同じ企業を選定した。特定の事業者に丸投げのよう...

議案第9号、10号 市議会議員及び市長等特別職の期末手当を0.05カ月分引き上げる条例改正に反対

議案第11号 一般職職員の月例給引き上げ(平均0.2%)、勤勉手当引き上げ(0.05カ月)、住居手当を引き上げ(2万7000円↓2万8000円)の

議案第9号、10号 市議会議員及び市長等特別職の期末手当を0.05カ月分引き上げる条例改正に反対

日本共産党

災害関連の補正予算に賛成

連続した台風と大雨被害に支出した補正予算額は約11億7700万円で、そのうち国、県の負担は約7億円。被災した市民に寄り添った復旧を求め議案第23号、第24号に賛成。

議案第1号補正予算に反対

母子検診の情報データをマイナンバーに紐づけたためのシステム改修費が計上されていることから反対。消費税を財源とする幼児教育無償化の際、給食費を有料にしたことで負担が増えた保護者に増額分を補填する予算計上を評価し、今年度だけでなく来年度以降も継続することを要望。

議案第9号、10号 市議会議員及び市長等特別職の期末手当を0.05カ月分引き上げる条例改正に反対

議案第11号 一般職職員の月例給引き上げ(平均0.2%)、勤勉手当引き上げ(0.05カ月)、住居手当を引き上げ(2万7000円↓2万8000円)の

呼びかけたが否決となった。

議席11番 佐倉市の横断歩道における安全・安心を実現する決議

議席12番 横断歩道安全実現の決議案

議席16番 議案23号専決処分の承認を求めることについては、度重なる災害による被害に対して、早急に不測の財政支出が見込まれると考えられることから賛成。台風、豪雨による被災された方々への生活安定、住宅の安全確保は重要です。被害に対しては早急な対応を求めます。

議席3番 佐倉市では2001年に交通安全条例が制定されたが未だに横断歩道を安心して渡れない状態が続いている。この状況を憂慮する子供を持つ親御さんや高齢の市民の方々からの要請を受け、横断歩道安全決議を議会の意思として決議する協力を

議席3番 佐倉市では2001年に交通安全条例が制定されたが未だに横断歩道を安心して渡れない状態が続いている。この状況を憂慮する子供を持つ親御さんや高齢の市民の方々からの要請を受け、横断歩道安全決議を議会の意思として決議する協力を

議席3番 佐倉市では2001年に交通安全条例が制定されたが未だに横断歩道を安心して渡れない状態が続いている。この状況を憂慮する子供を持つ親御さんや高齢の市民の方々からの要請を受け、横断歩道安全決議を議会の意思として決議する協力を

委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

開催日：令和元年12月9日 / 場所：第三委員会室

議案15件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

このたびの災害復旧対応については、国及び千葉県が展開する支援制度等に係る情報を積極的に取得するとともに、被災の実情を的確に捉え、被災者が求める必要な対策や支援を迅速に遂行するなど、一日も早い復旧復興に努めていただきたい。

〔委員〕◎平野裕子、○中村孝治、石井秀明、五十嵐智美、萩原陽子、藤崎良次、岡村芳樹

《審査結果》

| | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|
| 議案1 | 議案2 | 議案5 | 議案6 | 議案8 | 議案9 |
| 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 |
| 議案10 | 議案11 | 議案12 | 議案13 | 議案14 | 議案18 |
| 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 |
| 議案19 | 議案23 | 議案24 | | | |
| 可決 | 承認 | 可決 | | | |

文教福祉常任委員会

開催日：令和元年12月10日 / 場所：第三委員会室

議案5件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

度重なる台風及び大雨により、多くの小中学校で倒木被害等が発生していることから、早期の復旧とあわせ、今後の風水害対策のため、安全点検も実施し、安心安全な教育環境の確保に努めていただきたい。

〔委員〕◎久野妙子、○櫻井道明、松島 梢、齋藤寛之、岡野 敦、木崎俊行、爲田 浩

《審査結果》

| | | | | | |
|-----|-----|------|------|------|-----|
| 議案1 | 議案4 | 議案15 | 議案20 | 議案24 | 陳情1 |
| 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 採択 |

経済環境常任委員会

開催日：令和元年12月11日 / 場所：第三委員会室

議案4件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

佐倉市スマートオフィスプレイスについては、起業の促進や子育て世代の女性の利用など多様な働き方を支援する施設として、今後一層のサービス拡大、向上を期待する。また、指定管理者のモニタリング等もしっかり行っていただくとともに、地元企業の育成といった観点からも、指定管理者と連携し、官民一体となって佐倉市の活性化に努めていただきたい。

〔委員〕◎敷根文裕、○徳永由美子、川口絵未、鍋田達子、密本成章、玉城清剛、齋藤明美

《審査結果》

| | | | |
|-----|-----|------|------|
| 議案1 | 議案3 | 議案21 | 議案24 |
| 可決 | 可決 | 可決 | 可決 |

建設常任委員会

開催日：令和元年12月12日 / 場所：第三委員会室

議案6件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

このたびの災害復旧対応した箇所については、早急に原状回復を行うとともに、今後、同様の被害が生じないよう、さらなる安全対策を講じていただきたい。

〔委員〕◎高木大輔、○山本英司、高橋とみお、宇田実生子、押木孝和、稲田敏昭、石渡康郎

《審査結果》

| | | | | | |
|-----|-----|------|------|------|------|
| 議案1 | 議案7 | 議案16 | 議案17 | 議案23 | 議案24 |
| 可決 | 可決 | 可決 | 可決 | 承認 | 可決 |

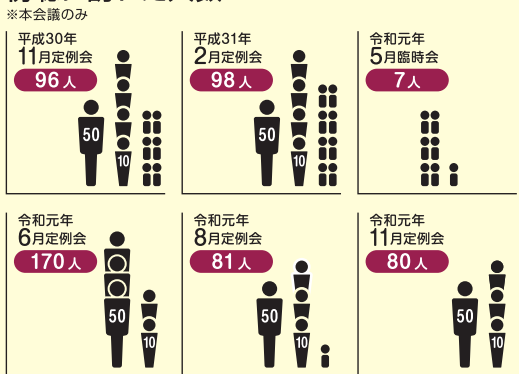
2月定例会の予定

～議会を傍聴してみませんか～

- ◆議会運営委員会 2月18日(火)
 - ◆招集日 2月25日(火) 午後1時から
 - ◆一般質問 3月2日(月)～5日(木)
 - ◆常任委員会 3月9日(月)～12日(木)
 - ◆予算審査特別委員会
3月16日(月)～19日(木)
 - ◆最終日 3月24日(火) 午後1時から
- ☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎043-484-6254

- インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の様態を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。
- CATV議会放映：本会議の様態を開催日の翌日午後5時30分から放送。
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

傍聴に訪れた人数 (平成30年11月～令和元年11月定例会)



先進事例に学ぶ



佐倉市でも行政視察を受け入れています。ホームページで公開しています。



総務 常任委員会

11月6日～7日



伊丹市の「安全・安心見守りネットワーク事業」では、市内に設置した千台の防犯カメラ等とビーコンによる位置情報通知サービスを活用した子ども・高齢者・障害者の見守り体制を、尼崎市の「地域力を支える体制づくり」では、地域の問題を地域で解決するための、組織・施設の再編と職員の配置・意識改革について学んだ。

文教福祉 常任委員会

10月8日～9日



糸島市の「糸島の教育5つのモード」では、時代の変化に対応できる人づくりを掲げ、地域の教育資源を活用しながら小中連携や実践的なICT教育を推進する事例を学んだ。福岡市社会福祉協議会の「住まいサポートふくおか」では、65歳以上の住み替え困難者を対象に民間賃貸住宅への入居をNPO等と協働で支援する仕組みを学んだ。

経済環境 常任委員会

10月24日～25日



久留米市の「宮ノ陣クリーンセンター」では、工場棟(焼却施設)、リサイクル棟及び環境交流プラザから構成される中間処理施設の管理運営について、福岡市の官民共働型のスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」では、創業前から事業確立までを支援する独自のスタートアップ支援体制について学んだ。

建設 常任委員会

10月23日～24日



丸亀市の「まちづくりのための道づくり」では、事業効果の高い道路を計画的、優先的に整備を行うために作成された「丸亀市道路整備プログラム」について、高松市の「多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画」では、都市機能の集積や市街地の拡大抑制、公共交通を基軸とした集約型都市に向けた取り組みについて学んだ。

議会運営 委員会

10月29日～30日



岸和田市では、災害時における議会の行動指針となる「災害対応マニュアル」策定の経緯や平成30年に見舞われた台風被害の経験を踏まえたマニュアルの改訂について、泉佐野市では、議会が財政健全化の観点から事務事業評価を行い、その結果を予算編成に反映させる取り組み「議会による行政評価」について学び、意見交換を行った。

議会百景

4月の初当選後、広報公聴委員として、魅力ある「佐倉市議会だより」を作ろうと勉強してまいりました。今号から議会の傍聴に来られた人数を表示させていただくとともに、QRコードより各議員の一般質問の様子をご覧いただけるようになりました。今後ますます皆さまに興味を持っていただけるように工夫をしてまいります。

(広報公聴委員 押木孝和)

立て続けに起きた災害により、被災された市民の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。今議会では多くの議員が「安心・安全なまちづくり」や「復興支援」のため、一般質問や委員会において質問し、さまざまな提案や要望をいたしました。今後も議員一同、市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに励んでまいります。

(広報公聴委員 密本成章)